

# 平成27年度 学校関係者評価書

学校名 和歌山市立中之島小学校

作成日 平成28年3月8日

## 1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもちたくましく生きる子どもの育成

- ・豊かな心情をもち、思いやりのある子ども
- ・学ぶ意欲をもち、自らのめあて（課題）に向かって取り組む子ども
- ・いきいきと活動し体育学習を楽しめる子ども

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	体づくり
重点目標に対する意見	情報の発信や保護者・地域・諸団体との連携・協力・交流を積極的に行うことで、さらに開かれた学校づくりができると考えられる。	学校教育のあらゆる場面で、命の大切さや一人一人が大切にされ、認められるよう、お願いしたい。	国語力の向上に努めることで、読みとる力やまとめる力が育ち、他教科の伸びにつながると期待する。	運動の楽しさ、目標に向かって努力し達成した時の喜び等、体育科学習は、将来の体・心づくりに結びつくものであり、実践に期待する。
取組の状況に対する意見	学校・学年・学級だよりが定期的に出され、学校の教育活動や子ども達の状況がよくわかる。 多くのボランティアの方が学校の教育活動に参加され、子ども達の方々のもつよさやすばらしさに触れている。 保護者の参加率が高まるよう工夫をしてほしい。	学校生活での道徳教育を意識させる場面について、家庭に問うように知らせてくれる学校だよりは保護者の子育ての指針となり、豊かな心づくりにつながるよう思う。 縦割り活動や地域の方々との交流、幼保小連携教育が多く実施され、豊かな心づくりに有効である。	「読書タイム」は、集中力が身につき、1限目からの授業に落ち着いて取り組めるようだ。 子どものアンケートによると85%が“毎日の勉強がわかる”と答えているが、学習に不安のある子に対しても意欲的に授業に取り組める工夫をさらにお願いしたい。	生活調べ（ドラドラ貯金）で、定期的に保護者も子ども達も生活習慣を見つめることができ、続けて実施することは有効である。また、子ども達の（テレビ）ゲームやメール、インターネット等についての弊害は、もっと家庭に呼びかけてほしい。
取組の適切さの検証結果に対する意見	11月の学校開放月間は、普段の子どもたちの様子を知る良い取り組みだと思ふ。1・3学期にも設定してほしい。学校側からの質の高い情報を発信するようにお願いしたい。 うどんパーティーは、子どもたちの秋の風物詩として定着し子ども・家庭・地域の方との交流の場となっている。	保護者アンケートの結果、子ども達の心の成長について家庭・学校が連携・協力する必要性を感じる。 学年毎に役割や交流行事があり、低学年の子ども達は上級生の責任ある行動を見習おうとする姿が見られ、心の育ちを感じる。 幼保小の交流では、1・2年生の子ども達にも活躍の場が与えられ、やさしい心遣いが見受けられた。	基礎的な学力をそれぞれの学年で確実にしっかりつけてほしい。「中之島タイム」を通して、学力の定着が一層確実にできるよう期待する。  「うちがくのすすめ」が配布され、家庭での学習の具体的な取り組み方が示されている。	子ども達が生きる力を身に付け、心豊かな子に育つよう、教職員のチームワークを大切にしたり取り組んでいただきたい。 紀の国チャレンジランキングを効果的に使い、自校以外の子どもたちと記録を競うことで、スポーツに関心をもたせ、体力作りに結びつけてほしい。
次年度に向けての改善方法に対する意見	地域の方や保護者のボランティアを招き、子ども達や教職員とより強く結ぶよう期待したい。 校門横の掲示板を保護者や地域の方々がよく見知っている。学校の活動を知ってもらう一番の広報の手立てであり、工夫して掲示してほしい。 HPでの発信が多くなり、日々子ども達の活躍ぶりがよくわかる。今後も楽しみである。	家庭での保護者の役割は心の育ちに重要であり、常に学校からのアドバイスを心がけてほしい。 不登校の子やその保護者に対して、教職員やスクールカウンセラーを中心に、いろいろな働きかけを行ってほしい。（すべての子にとって居場所のある学校になるように） HPで子ども達の様子がよくわかる。地域の方へもHPでの発信を知らせたい。	国語力の向上のため、学ぶ楽しさを実感するため、伝え合う授業を低学年から意識して積極的に取り入れてほしい。 「うちがくのすすめ」を各学年ではどう実施したらよいかを懇談会の話題に取り上げてほしい。	教職員の工夫により、遊具や遊びの環境が新しくなった。子ども達が工夫して遊べるものが増えた。 本校の子どもの生活や実態、食生活を把握されている養護教諭やスクールカウンセラーの先生に講演会等でお話を伺うこともお願いしたい。

## 3 その他ご意見

- ・学校開放月に訪問された保護者や地域の方にも簡単なアンケートを実施してみてもどうか。（参観日の1時間では見ることのない日常が見られると思う。）
- ・懇談会・教育講演会への保護者の参加が少ないように思う。残ってもらふ工夫が必要と考える。また残れない人のためにも懇談会の内容をまとめたプリントを出してほしい。参観日に各クラスに置かれているプリントは授業のめあてや見てほしいポイントなどが書かれていて、よい試みだと思うのでどの学年も出してほしい。
- ・給食参観が児童と一緒に給食を食べることに変更され、子どもたちの様子がよくわかった。

